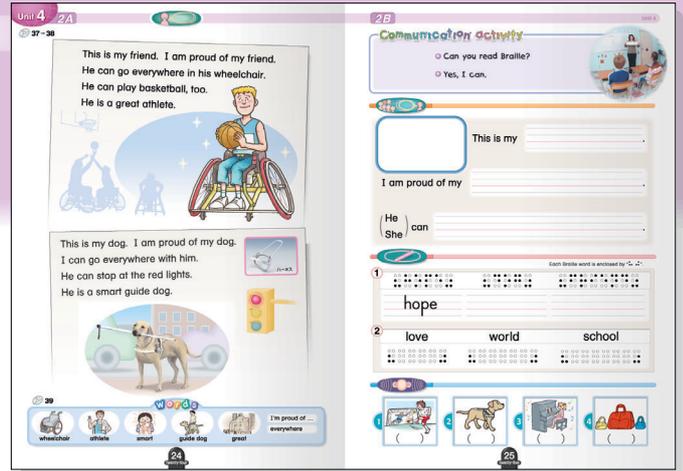


トピック ぼくの誇り：
I'm proud of my friend.

本レッスンの目標

- 助動詞canの復習
- 点字(Braille)を理解し、親しむ
- 相手を尊重する態度を養う
- 自分が誇りに思えることを発表する



ターゲットセンテンス

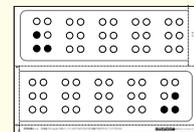
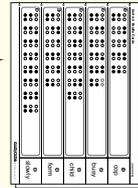
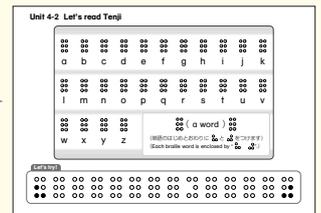
I am proud of my friend.
He can go everywhere.

語彙

wheelchair, athlete, smart, guide dog, great,
I'm proud of ..., everywhere

用意するもの

- Class Cards: Unit 4-2 # 73-79 (wheelchair, athlete, smart, guide dog, great, I'm proud of ..., everywhere)
- ワークシート1: 点字早見表 ※生徒の人数分プリントアウトします。
(点字早見表は1枚につき2人分が印刷されています)
- ワークシート2-3: 点字カード10種類(先生用) →
※cap, busy, child, farm, slowly, running, noise, carpenter, farmer, turkeyを表しています。
番号ごとに切り離して、点字カードを作ります。(右端の Answer 部分は切り取っておきます)
- ワークシート4: 点字を書く白紙シート(先生用) →
※プリントアウトし、切取線で切り取ってのりで端を留めます。
(点字を書く際に黒板に貼って使います)
- 情報メモシート: I am proud of ※友達の発表を聞いてメモをとるシートを、生徒の人数分プリントアウトします。



ウォームアップ & 復習

- 1 英語であいさつをします。
- 2 Q&Aリストの質問の中から No.1～33 をします。(Questions List 参照)
- 3 **Unit 4-1 p.22 の復習**
先生はCD (Disc1 #66 Words 欄) をかけます。生徒達は p.22 の Words 欄の語彙をリピートします。
次にCD (Disc1 #67) をかけ、p.22 のチャンツを練習します。
次に先生はCD (Disc1 #68 リズムのみ) をかけ、生徒達はリズムに合わせてチャンツを練習します。
- 4 生徒はペアになって p.22 の内容を発表し、上手に暗唱ができるとネームカードの 22 番にシールを貼るか色をぬることができます。
(クラスが大人数の場合、グループに分けて発表します)
- 5 先生はCD (Disc1 #71 カラオケ) をかけて、元気に歌: What Can You Do? (p.23) を歌います。



ワークシートを使って語彙を点字で書いたり、点字で何と書かれてあるかを考える活動です。



この活動で使う基本文型 Can you read Braille?
Yes, I can.

Disc 1
72

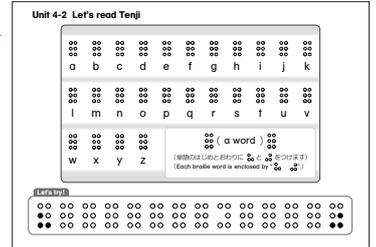
4文収録。
3,4文目は
下記★参照

活動手順

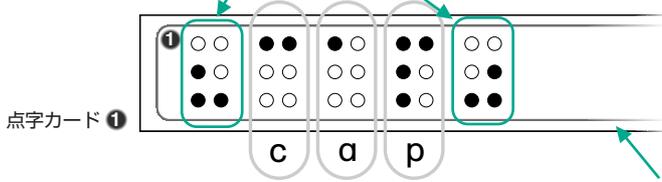
この活動で使う点字と点字の規則を提示し、練習します。

●ワークシート「点字早見表」を生徒に1枚ずつ配ります。

●先生は点字カード① (=cap) を生徒に見せ、英語で何と書いてあるか早見表で調べさせます。
(その際、先生は単語の始めと終わりに ⠠ と ⠨ が付くことを言います。)



ワークシート「点字早見表」

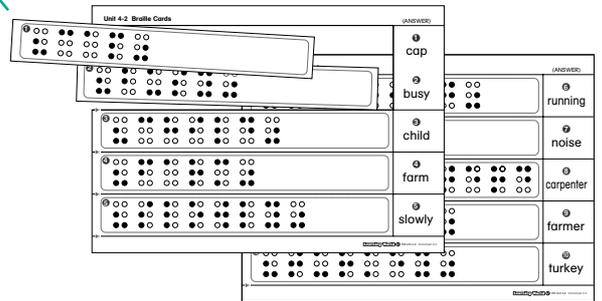


この活動で使う文のパターンを提示し、練習します。

●上記で示した点字カード① (=cap) を見せながらCDをかけて、この活動で使う基本文の音声を確認します。

Disc 1
72

Can you read Braille?
Yes, I can.
★ What does it say?
★ It says "cap."



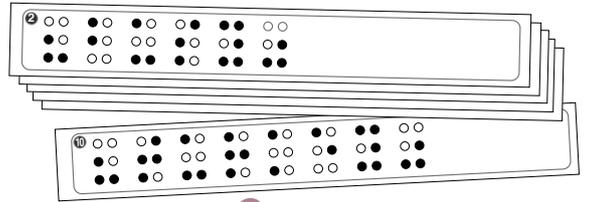
ワークシート「点字カード」

1 点字を読む：点字カード②～⑩を1枚ずつ見せて何と書いてあるか質問し、生徒達に考えさせます。

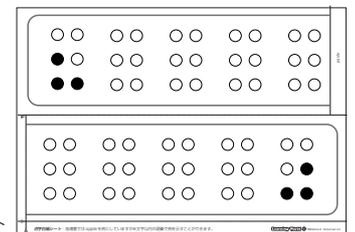
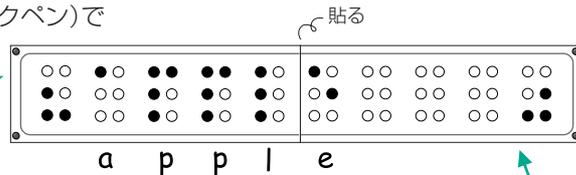
点字カード：① cap, ② busy, ③ child, ④ farm, ⑤ slowly,
⑥ running, ⑦ noise, ⑧ carpenter, ⑨ farmer, ⑩ turkey

T: (点字カード②を見せて) Who can read this word?
S1: I can. It's "busy." (It says "busy.")

Note 点字の語彙は Unit 4-1 までの新出語彙から選んであります。つづりを解読するだけでなく、テキストを参照して発音や意味を理解して答えるよう指導します。



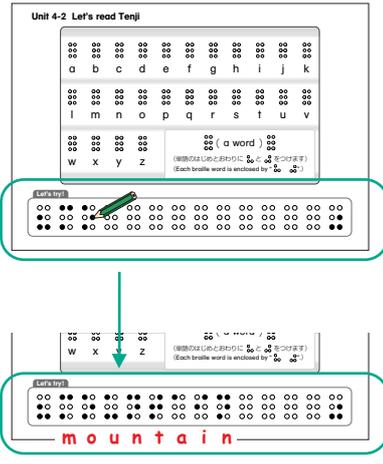
2 点字を書く(デモンストレーション)：点字白紙シートを黒板に貼り、点字の○を「点字早見表」を見ながら鉛筆(またはマジックペン)でぬりつぶして提示します。(例：apple)



点字白紙シート

Activity Procedure

- 3 Give each S a “Let’s read Tenji”び、「点字早見表」の下の **Let’s try!** の欄の○をぬりつぶして点字を書きます。
(語彙を選ぶ際は、Book 1, Book 2, Book 3, Unit 4-2 までの Words 欄を参照するなど工夫してください)
- 4 先生は、生徒が書いたワークシートをすべて集め、クラスを2つ以上のグループに分けます。
- 5 生徒達にワークシートを1枚ずつ見せ、英語で何と書いてあるか考えさせます。グループで相談してもよいでしょう。
わかった生徒は “I can.” と言って手を挙げ、答えます。
先に答えたグループが1ポイント獲得します。
T: (ワークシートを1枚見せて) What does it say? Can you read this?
S: I can! It’s “mountain.” (It says “mountain.”)



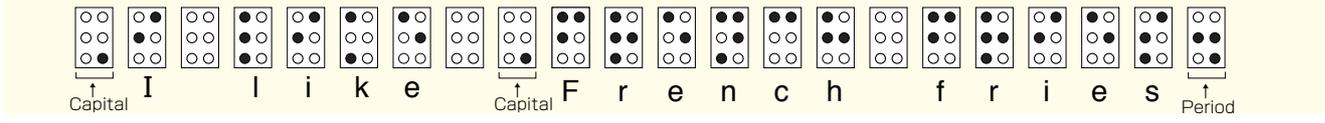
Note 点字は、現在はコンピュータ化されていますが、従来は特別な針を使って、1字1字、紙の裏から打っていました。点字の早見表は、健常者が裏から打つためのもので、実際に点字として見る物(触る物)は裏返しになります。

点字の書き出し方 点字を書く(=打つ)時はいろいろな決まりがあります。このレッスンではその中の基本的なものとして英語の単語のみを扱いました。点字早見表のアルファベットは全て小文字を表します。大文字を書く時は「大文字符」を付けてから、アルファベットを書きます。その他、記号は次のように表します。

外国語引用符: 大文字符: ハイフン符: コンマ符: ピリオド符: 感嘆符: 疑問符:

点字を書く時は、言葉のまとまりごとにマスを1つあけます。文を書く時は、「今から文を書きます」と知らせるために、2マスあけてから始めます。

e.g., I like French fries. はこうなります。



Disc 1
74
75

This is my friend. I am proud of my friend.
He can go everywhere in his wheelchair.
He can play basketball, too.
He is a great athlete.



This is my dog. I am proud of my dog.
I can go everywhere with him.
He can stop at the red lights.
He is a smart guide dog.



Disc 1
73

39

Words

wheelchair athlete smart guide dog great

I'm proud of ... everywhere

24
Twenty-four

Disc 1
76
77

Disc 1
72

Communication activity

- Can you read Braille?
- Yes, I can.

What does it say? クラスCDには指導のために4行分を取録。
It says "cap."



This is my

I am proud of my

(He
She) can



Each Braille word is enclosed by "⠠ ⠨".

1 hope

2 love world school

Disc 1
73

73

24
Twenty-four

Unit 4-2 テキスト左ページ p.24

1 生徒達はテキストを閉じたままCD (Disc1 #74) を聞きます。先生は生徒達がどの程度、英文の意味を理解できたかを確認します。生徒は「聞いてわかった」英文を言います。

2 テキスト24ページを開きます。

3 語彙の練習

Disc 1
73

wheelchair, athlete, smart, guide dog, great, I'm proud of ..., everywhere



- ◆Class Cards (#73-79) を使い、Words欄の語彙を練習します。
- ◆先生は CD (Disc1 #73) をかけ、生徒達は Words欄の文字を指差しながら語彙をリピートします。

4 スピーチ

- ◆先生はCD (Disc1 #74) をかけます。生徒達は文章を指差しながら聞きます。
- ◆次に先生はCD (Disc1 #75 ポーズ入り) をかけます。生徒達は各せりふの後について練習します。
- ◆生徒達が自分で言えるよう指導します。CD (Disc1 #75 ポーズ入り)

Disc 1
74
75

Script :

This is my friend. I am proud of my friend.
He can go everywhere in his wheelchair.
He can play basketball, too.
He is a great athlete.

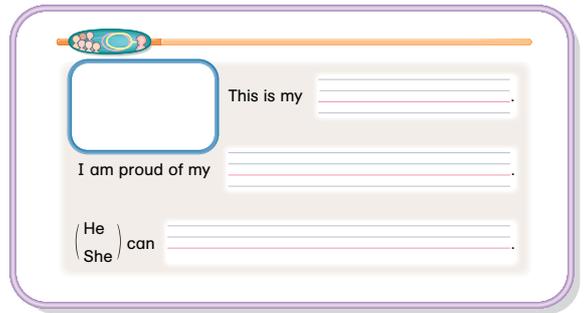
This is my dog. I am proud of my dog.
I can go everywhere with him.
He can stop at the red lights.
He is a smart guide dog.

5 オリジナルに挑戦!

- ◆右ページを使っておこないます。(テキスト右ページの項を参照)

スピーチをしましょう 

- 1 生徒達はテキスト25ページを開きます。
- 2 先生は次の英文を生徒達と一緒に読んで、生徒が意味を理解していることを確認します。
 例 This is my I am proud of my He / She can
- 3 生徒達は自分の誇りに思う人を1人選び、四線にその人について書きます。3行目は can を使って英文を書き、最後に上の枠に絵を描きます。
 例 S: This is my mother.
 I am proud of my mother.
 She can speak English.
- 4 先生は「情報メモシート」を生徒1人1人に配ります。
- 5 生徒は1人ずつクラスの前に出て、誇りに思う人について発表します。
 例 S1: Hello, everyone. This is my big brother.
 I am proud of my big brother.
 He can play the piano.
 Thank you.



This is my _____

I am proud of my _____

(He / She) can _____

Unit 4-2 I am proud of...	
name	information

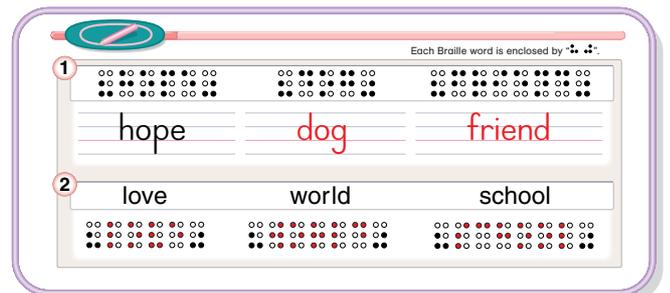
情報メモシート

- 6 他の生徒達は「情報メモシート」にメモをしながら聞きます。
- 7 すべての生徒の発表が終わったら、先生は生徒達がお互いに相手の発表を理解し、メモを取っていたかどうか確認します。
Note I am proud of は日本の子供達になじみの薄い、しかしとても貴重な表現です。「自慢に思う」ではなく、「誇りに思う」という言葉を使って教えてください。欧米では自分の子供に言うほめ言葉に I am proud of my son (daughter). があります。どんな環境にいても自己を肯定できるようになるために、「誇り」という言葉をぜひ使えるようにしたいものです。

ドリル  Let's read Braille!

- 1 点字を英語にしましょう。(「コミュニケーション活動」で使用した「点字早見表」をここでも使います)
 答え : dog, friend

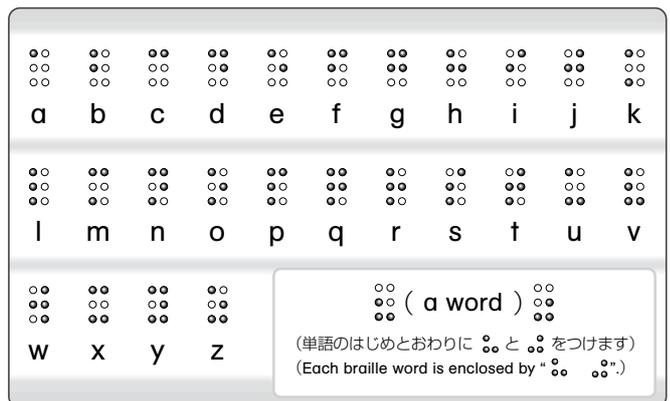
- 2 英語を点訳しましょう。



Each Braille word is enclosed by "⠠" and "⠨".

1 hope dog friend

2 love world school



⠠ a ⠠ b ⠠ c ⠠ d ⠠ e ⠠ f ⠠ g ⠠ h ⠠ i ⠠ j ⠠ k

⠠ l ⠠ m ⠠ n ⠠ o ⠠ p ⠠ q ⠠ r ⠠ s ⠠ t ⠠ u ⠠ v

⠠ w ⠠ x ⠠ y ⠠ z

⠠ (a word) ⠨

(単語のはじめとおわりに ⠠ と ⠨ をつけます)
 (Each braille word is enclosed by "⠠" and "⠨".)

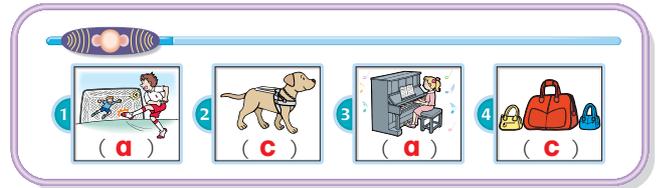
点字早見表

リスニングテスト

Page 25. Listen carefully and choose the correct sentence according to each picture.

テキスト25ページの絵についてそれぞれ3つの英文を読みます。絵の内容を最もよくあらわしている文の記号を選びましょう。

- No.1 a: My brother can score a goal.
b: My brother is a baseball player.
c: My mother can score a goal.
- No.2 a: I am proud of my teacher.
b: I am proud of my father.
 c: I am proud of my dog.
- No.3 a: My friend Yumi can play the piano.
b: My friend Yumi can play the flute.
c: My friend Yumi can't play the piano.
- No.4 a: The big red bag between the small yellow bag and the big yellow bag is mine.
b: The big red bag between the big yellow bag and the small blue bag is mine.
 c: The big red bag between the small yellow bag and the small blue bag is mine.



ワークブック p.17

1 Put the words in the correct order and complete the sentences.

■ 英語を正しい順に並べて、四線に英文を書きます。

2 Words 日本語の意味を()内に書き、各語彙を書く練習をします。(必要があれば、先生は生徒と一緒に①～③の語彙を読む練習をし、生徒達が内容を理解できていることを確認します。日本語の意味は先生が示すのではなく生徒達に考えさせてください)

※解答は、あくまでも標準的な1つの例です。生徒達が書く言葉の自由な発想を大切にしてください。

宿題

- 1 Unit 4-2, テキスト24ページのスピーチの音声(Student CD #37→38)を聞いておくことが宿題です。
- 2 CDとともに十分練習した後、ポーズ入り(Student CD #38)で練習するよう指導してください。
- 3 次回のレッスンの最初に、宿題のページを発表します。
■ 家庭で音声を聞く時は、必ずテキストを開いて文章を見ながら聞くよう指導してください。

2 1 Put the words in the correct order and complete the sentences.

1 This is my wheelchair.
[my] [wheelchair] [is] [?]

2 I am proud of my family.
[am] [my] [family] [of] [proud] [?]

3 He can play soccer, too.
[play] [soccer] [?] [can] [too] [?]

4 He is a great athlete.
[a] [is] [athlete] [great] [?]

5 Can you read Braille?
[read] [you] [Braille] [?]

6 I can go everywhere with him.
[with] [can] [everywhere] [him] [go] [?]

2 Words

1 be proud of (～を誇りに思う)	2 wheelchair (車いす)
3 great (偉大な)	4 athlete (運動選手)
5 guide dog (盲導犬)	6 everywhere (どこでも)
7 smart (かしこい)	8 Braille (点字)